

【新型コロナ対応】 8月17~29日開催。城西国際大学と兵庫県のリハビリ施設が連携して実現
学びを止めない日本初の脳卒中当事者オンライン授業
感染予防で失われた現場実習の”学び”を脳卒中当事者のオンライン授業協力によって実現



新型コロナで医療系学生の現場実習中止

城西国際
大学



城西国際大学とリハビリ施設が連携



脳卒中当事者がオンライン授業協力

城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科（千葉県東金市）と動きのコツリハビリセンター（本社：兵庫県西宮市、代表取締役：生野達也）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった医療系学生の現場実習による学びを補完することを目的に、脳卒中当事者の協力のもとテレビ電話を使ったオンライン授業という日本初の取り組みを行います。本取り組みは2020年8月17日(月)~29日(土)に開催予定となっています。

【解決したい課題】

- ・新型コロナで医療系学生の**現場実習中止**
- ・現場実習を補完する学内授業の立案困難
- ・**脳卒中当事者のみではオンライン授業困難**
- ・脳卒中発症後、**役割や仕事が減少**する
- ・脳卒中当事者の復職率は平均44%

【提供するサービス】

- ・**脳卒中当事者**による**オンライン授業協力**
- ・大学の学生および教員と、オンラインでリハビリ施設の脳卒中当事者と理学療法士をつなぎ、安全面を配慮して問診や検査をはじめとした授業を実施
- ・**脳卒中当事者でしかできない新たな仕事**の実現

新型コロナウイルス感染症の影響により、医療系学生が実際の患者を通じた学ぶ機会である現場実習の中止が相次いでいます。文部科学省からは学内授業で現場実習を補完することが提案されています。しかし、学内授業では”実際の患者を通じた学び”ができない問題が生じています。また、実際の患者にオンライン授業の協力を得る場合、安全面の課題などがあり、実現が困難となっています。一方、脳卒中後、家庭内の役割や仕事の役割が減少してしまうことが問題視されており、復職率は平均44%とされています。

今回、城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科（千葉県東金市）は、動きのコツリハビリセンター（本社：兵庫県西宮市、代表取締役：生野達也）と提携し、リハビリテーション専門家の養成校における現場実習を補完することと、脳卒中当事者でしかできない仕事作りの両立を実現することを目的として、脳卒中当事者によるオンライン授業協力という新しい授業を開始します。

大学の学生および教員と、オンラインでリハビリ施設の脳卒中当事者と理学療法士をつなぎ、安全面を配慮しながら問診や検査をはじめとした双方向性の実技実習をオンラインで行います。”実際の患者を通じた学び”を図ることが目的です。なお、本取り組みは、2020年8月17日(月)~29日(土)に日本初の開催予定です。

脳卒中当事者による授業協力は、脳卒中当事者でしかできない新たな仕事ともいえます。これは脳卒中当事者にとっては新たな社会的役割を実感できる機会となります。その繰り返しによって、自信がたいてくることで、他の仕事などへのチャレンジへとつながる可能性があります。

(株)動きのコツジャパン 取材担当：生野達也 電話：050-3390-0152

兵庫県西宮市池田町9-7フレンテ西館305 メール：info@ugoki-no-kotsu.com

ホームページ：https://ugoki-no-kotsu.com

(プロフィール)



- ・城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 (じょうさいこくさいだいがく)
桑江豊 (くわえゆたか)
- ・理学療法士、博士 (学術)

2008年千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻メディカルシステムコース
博士後期課程入学 博士 (学術) を修得.

2017年城西国際大学理学療法学科に入職. 現在に至る.

ワイヤレスモーションセンサを用いた脳卒中の動作計測・リハビリテーションの効果判定の研究に従事。近年は介護ロボットの開発・運用の厚労省のプロジェクトに参画。働きながら研究活動を行うためのコツをまとめた研究寺子屋を発足。若手療法士の研究活動の支援を開始。2020年のオンライン学習時代ならではの教育方法・学習方法の可能性を画策中



- ・代表取締役 生野達也 (いくのたつや)
- ・理学療法士、保健福祉学修士

2013年公的介護保険外リハビリ 脳卒中専門リハビリ「動きのコツ研究所」を創設。
リハビリと同時に脳卒中当事者でしかできない仕事づくりにも取り組んでいる。

- ・株式会社 動きのコツジャパン 代表取締役(兵庫県西宮市)
事業内容：西宮市内において公的介護保険外リハビリ施設を2店舗運営
- ・一般社団法人 動きのコツ協会 代表理事 (東京都港区)
事業内容：理学療法士や作業療法士、看護師などを対象とした教育・研修

(イベント紹介)

- 脳卒中当事者会「未来へつなぐ会」：月1回開催
- 脳卒中当事者とリハビリ専門職で宿泊する「リハビリ合宿」：年1回開催
- 脳卒中者のリハビリ成果を表彰する「動きのコツ協会アワード」：年1回開催



(YouTubeチャンネル総再生回数100万回超)



(脳卒中当事者会:未来へつなぐ会を毎月開催)



(宿泊して当事者同士が教えあうリハビリ合宿を主催)

【出展】

- ・「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」

出展：文部科学省資料

https://www.mext.go.jp/content/202000302-mxt_kouhou01-000004520_2.pdf

- ・復職率44%：厚生労働省資料 <https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000023wrx-att/>

[2r98520000023x5g.pdf](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000023x5g.pdf)

- ・家庭内役割、仕事など10～50%減少 「生活構造の理論」：有斐閣.P95-138,1971